

講演会

講師

安田菜津紀さん



NPO法人ダイアログ
フォーピープル副代表

共に生きるとは何か
難民の声 家族の歴史から
考える多様性

とき

2024年9月20日（金）

18:30～20:15（開場17:30）

ところ

イイツカコスモスコモン
中ホール

R.7

市内工事業者
加点対象

入場無料・手話・託児あり
（託児申し込み9月13日迄）申し込み、問い合わせは
下記 人権ネットいいづかまで

電話・FAX：0948-24-7582



HP

おさそい

シリアでの戦争、ガザへの軍事侵攻が続くなど、世界では故郷を追われる人が後を絶ちません。日本国内で暮らす多様な人々の中にも、命の危険から逃れ、難民とならざるとえなかった人々もいます。軍事侵攻を受けたウクライナから、日本に身を寄せる人々のことが大きく報じられてきましたが、他の国からも多くの人々が避難を余儀なくされており、難民認定の壁につきあたっています。

また、さまざまなルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残り、裁判を余儀なくされているケースも見られます。この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んで来た歴史も交えて考えていきます。

誰もが自分らしく生きていける社会になるために私たちは何をすべきか考える機会の一つになると思います。

皆様のご参加をお待ちしています。



安田菜津紀さんのプロフィール

1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人 Dialogue for People (ダイアログフォーピープル/D4P) フォトジャーナリスト。同団体の副代表。

16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたち取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。

東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。

上智大学卒。現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』（ハウレーカ）他。